

報道関係者各位

2025 年 6 月 19 日(木)

デジタルハリウッド ロボティクスアカデミー ドローンで撮影した映像作品限定のコンテスト 「Drone Movie Contest 2025」



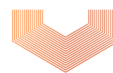
Japan Drone 2025 にて授賞式を実施 各部門の受賞作品を発表

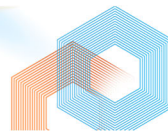
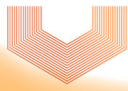
IT 関連及びデジタルコンテンツの人材養成スクール・大学・大学院を展開するデジタルハリウッド株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:春名啓紀、学長:杉山知之)は、2015 年に開校した『Digital Hollywood Robotics Academy』(デジタルハリウッド ロボティクスアカデミー)において、今年で 10 回目となる「Drone Movie Contest 2025」を開催し、グランプリと各部門の受賞作品を発表しました。

本コンテストは、ドローンで撮影された映像作品を対象としたもので、「Japan Drone 2025」の企画の一つとして開催しました。イベント内でノミネート作品の上映および授賞式をおこない、多くの注目を集めました。

【Drone Movie Contest 2025 について】

「Drone Movie Contest」は、2016 年より続く、ドローン映像に特化した映像コンテストです。記念すべき第 10 回となる今回は、特別企画として「縦ショート動画部門」を新設しました。本部門は、スマートフォンでの視聴を前提にした縦型動画(アスペクト比 9:16)を対象とし、近年のドローン機体におけ





る縦動画撮影機能の進化を反映した新たな試みです。

応募要項は以下となっております。

■審査対象条件

一般映像部門：

- ・ドローンで空撮した3分以内の映像作品
- ・映像全体の50%以上がドローンによる撮影で構成されていること
- ・撮影地および被写体の撮影許可が取得されており、一般公開が可能な作品

縦ショート動画部門：

- ・ドローンで空撮した15秒～60秒の縦型映像作品
- ・アスペクト比 9:16 で制作されていること
- ・映像全体の50%以上がドローンによる撮影で構成されていること

■審査基準

- ・JUIDAの安全ガイドラインに則った撮影がなされていること
- ・映像作品としての芸術性、技術的先進性を評価対象とする(ジャンルは不問)
- ・差別的表現や危険な撮影手法を含む作品は審査対象外
- ・著作権および肖像権が適切に順守されていること

【受賞作品の紹介】

今回の審査では、一般映像部門から7作品がノミネートされ、うち1作品がグランプリを受賞、さらに2作品が審査員特別賞に選出されました。縦ショート動画部門では2作品がノミネートされ、そのうち1作品がグランプリを受賞しました。

以下、4つの受賞作品をご紹介します。

＜一般映像部門＞



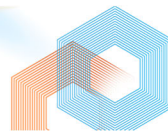
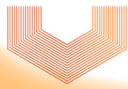
<https://youtu.be/hLckBZtGhwo>

DroneMovieContest2025 一般映像部門 グランプリ

「厳冬の果て、流氷のまち羅臼」

LOVE.PHANTOM 宮川 和之 様制作





<https://www.youtube.com/watch?v=yoLJRqNVLZY>

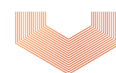
DroneMovieContest2025 審査員特別賞 <ごっこ倶楽部賞>
「【ドローン撮影】イトーキ本社オフィスを飛行(2025ver.)」
株式会社イトーキ 様制作

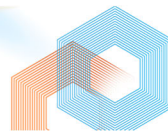
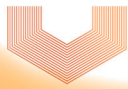


<https://youtu.be/yOhfRurHbjs>

DroneMovieContest2025 審査員特別賞 <SEKIDO 賞>
「~ 四季が彩る安達太良山 ~ 福島」
ドローンリサーチ福島株式会社 武藤貴之 様制作

<縦ショート動画部門>





<https://vimeo.com/1082198120/e54be1358d?ts=0&share=copy>

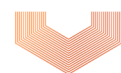
DroneMovieContest2025 縦ショート動画部門 グランプリ

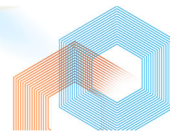
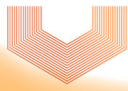
「【ホームビデオ】妖精のもりへ」

矢尾板 亨 様制作

今回は記念すべき第 10 回ということもあり、非常にハイレベルな作品が多数寄せられました。第 1 回が開催された 2016 年と比べても、機体の性能や操縦スキル、映像編集のクオリティが全体的に向上しており、応募いただいた一つ一つの作品からそのレベルの高さを強く感じるコンテストとなりました。

また、今回は縦動画をはじめ、マイクロドローンや FPV ドローンを用いた作品など、多彩な表現手法による映像も数多く集まりました。今後も機体の進化とともに、さらに魅力的な映像が生まれていくことを期待しています。





全ノミネート作品については下記よりご覧下さい。

公式サイト: <https://ra-drone.dhw.co.jp/contest/>

【審査員紹介】



志村 優

株式会社 GOKKO 取締役 COO／統括プロデューサー

10 年以上美容師として美容室の経営を行いながら、エンジニアリングを学ぶ(リクルートエンジニアキャンプで最優秀賞、Ethereum x Dapps ハッカソン準優勝)異色の経歴を持つ。

その後株式会社 GOKKO に参画。統括プロデューサーとして、脚本から撮影、編集まで 200 本以上のドラマ制作に携わり、2022 年の TikTok Award 受賞の立役者。脚本家としても、これまで 50 以上の作品を手がけており、2023 年から始まった『毎日はいかむ僕たちは。』では平均再生数 200 万を超えるバズの生みの親。



柴田 美美

DJI 認定ストア 東京虎ノ門 マネージャー

アパレル業界大手ブランドでのセールスやマネージメントの経験を経て、DJI 正規販売代理店としてドローンビジネスの最先端を支える株式会社セキドに入社。現在はセキドが運営する DJI 認定ストア 東京虎ノ門のマネージャーとしてドローンやカメラ製品の販売に携わり、横浜で定期開催しているドローン無料操縦体験会のインストラクターとしても活動中。

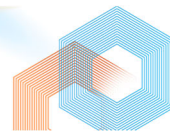
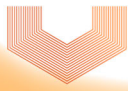


猪川 トム

PRONEWS 編集長/DRONE 編集長

出版社、広告代理店、CM 制作会社を経て、株式会社プロニュースに参加。映像専門 Web マガジン『PRONEWS』編集長、ドローン専門 Web マガジン『DRONE』編集長。日々国内外のドローンメーカー取材し、イベントや展示会を駆け巡る。日本メディアとして DJI 本社を初紹介。ドローン元年である 2015 年から毎月一回は海外ドローン専用展示会を訪ねている。訪問国はアメリカ、ドバイ、イギリス、オランダなど 10 カ国以上に及ぶ。





田口 厚

株式会社 ORSO Dron é motion 事業部 部長
デジタルハリウッドロボティクスアカデミー主幹講師

1998 年～IT 教育関連 NPO を立上げ、年間 60 以上の小学校現場における「総合的な学習」の創造的な学習支援や美術館・科学館等にてワークショップを開催。その後、「ドローン×地方創生」をテーマに観光集客の向上を目的とした空撮動画制作を行う株式会社 Dron é motion(ドローンエモーション)設立。

各地自治体や観光地の PR 動画コンテンツ制作の傍ら、JUIDA 認定スクール講師や、企業研修、e ラーニング等の講師としても活動

しているほか、ドローン専門メディア「DRONE.jp」等のメディアでレポートや執筆活動もしている。2025 年 2 月には株式会社 ORSO に JOIN し、Dron é motion 事業部として事業を行っている。



岩田 拓也

一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会 (JUIDA) 常務理事

国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員。

1998 年通商産業省工業技術院電子技術総合研究所に入所。第 16 回電子材料シンポジウム EMS 賞受賞、第 12 回応用物理学会講演奨励賞受賞。白色 LED 開発にてゼロから 1 兆円産業に成長する過程を経験。半導体製造装置開発からロボット技術に目覚め、2004 年に独立行政法人産業技術総合研究所知能システム研究部門に移籍、無人航空機の研究開発をスタート。2007 年日本機械学会交通・物流部門優秀講演表彰を受賞。2008 年に経済産

業省製造産業局産業機械課にてロボット政策に従事。2009 年以降「NIIGATA SKY PROJECT」の無人航空機開発を立ち上げる。

●一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会

<https://uas-japan.org/>

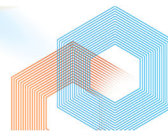
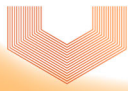
一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会 (JUIDA: Japan UAS Industrial Development Association) は、近年飛躍的な発展を遂げている無人航空機システム (UAS: Unmanned Aircraft Systems) の、民生分野における積極的な利活用を推進するとともに、UAS の応用技術の研究開発、安全ルールの研究、人材育成、環境整備に努め、UAS 関連の新たな産業・市場構造、健全な育成と発展に寄与するために、非営利・中立の立場でさまざまな活動を行います。

●デジタルハリウッド

<https://school.dhw.co.jp/>

1994 年 10 月、デジタルハリウッド株式会社の設立と同時に東京・御茶ノ水に本校として開校。現在は東京の他、大阪・梅田にも開校。主に社会人を対象に、Web・デザイン・3DCG・VFX・映像・グラフィック等のプロを養成し、各産業界への就転職や独立を目指す通学の専門スクール。



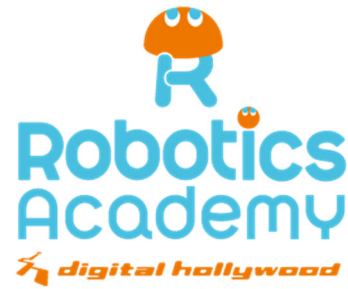


●デジタルハリウッド ロボティクスアカデミー

<https://ra-drone.dhw.co.jp/>

「LIFE with Robotics!」をコンセプトに、よりよい未来を描き、実生活の中にロボットの活用機会をデザイン・実装できる人材の養成を行います。

ロボットの実生活における利活用の促進と、利用者の保護のバランス感覚を持ったサービスロボティクスのプロフェッショナルの育成に全力を注ぎ、ロボット共生社会の実現を目指します。



◇デジタルハリウッド ロボティクスアカデミーに関するお問い合わせ◇

robotics@dhw.co.jp

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

mail:press@dhw.co.jp

TEL：03-5289-9241

デジタルハリウッド公式 サイト：<https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース：<https://www.dhw.co.jp/press-release/>

